

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。  
2016年12月 福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション学講座 准教授 村上道夫

【研究課題名】 気候変動対策が幸福感にもたらす影響に関する研究

【研究期間】 2016年12月～2021年11月

【研究の意義・目的】

気候変動により、水害などの災害の増加、熱中症の健康リスクの増加など、多様なリスクの発生が予想されている。これに対し、温室効果ガスの使用量減少による緩和策と堤防の設置などによる適応策といった対策の実施の重要性が言及されている。一方、今後の社会に対策を根付かせるためには、リスクの低減という観点に加えて、社会全体の幸福度向上を進める必要がある。これらの対策の効果は世代、地域によって異なり、効果的あるいは効率的に実施するためには、幸福感という観点からも、対策の効果を評価する必要がある。そこで、本研究では、気候変動対策の内、エアコンの使用、河川堤防、海岸堤防といった対策が幸福感にもたらす影響を評価する。

【研究の方法】

本研究では、オンラインアンケートの回答結果を用いて解析を行う。アンケートは、すでに実施済みである。オンラインアンケートは委託された調査会社が実施しており、調査会社は個人情報をもっているが、東京大学では個人情報を所有していない。本研究では、東京大学が受け取ったデータを東京大学と福島県立医科大学が連携しながらデータを解析し、得られた解析結果をもとに、東京大学、福島県立医科大学が結果を考察し、議論する。

検討・解析に用いるデータは、主観的幸福感に関する項目（生活満足度や昨日の気分）、主観的健康観、エアコンに関する質問項目（節電への取り組み、エアコンの使用の有無、使用温度、使用時間）、河川堤防・海岸堤防に関する質問項目（訪問頻度、近隣に川や海があるかどうか、近隣に堤防があるかどうか、川や海までの距離、景観・人命救助への認識、避難・被災経験）の他、性別、年齢、職業、居住都道府県、郵便番号、婚姻状況、子供・孫の有無、肉親の死別経験、最終学歴、家族内の失業者の有無、世帯人数、世帯年収、喫煙習慣、自由回答などである（詳細は、別紙1のアンケート項目を参照）。

このアンケートにより、上述の共変量の影響を考慮しながら、エアコンの使用、河川堤防、海岸堤防といった対策・取組が幸福感とどのような関連性があるか、どのような影響を及ぼすかを明らかにする。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者

福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション学講座 准教授 村上道夫

主任研究者

福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション学講座 准教授 村上道夫

分担研究者

東京大学生産技術研究所 教授 沖大幹  
東京大学生産技術研究所 特任講師 木口雅司  
東京大学生産技術研究所 特任研究員 小野雄也  
東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 大学院生 新井峻太

【人体から採取された試料等の利用について】

該当しない。

【他の機関等への試料等の提供について】

該当しない。

【研究者が保有する個人情報について】

オンラインアンケートは委託された調査会社が実施しており、調査会社は個人情報を所有しているが、福島県立医科大学、東京大学では個人情報を所有しない。

【本研究に関する問合せ先】

○研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション学講座 担当 村上道夫

電話:024-547-1320 FAX: 024-547-1244

E-mail:michio@fmu.ac.jp

○個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 総務課 大学管理係

電話:024-547-1007 FAX :024-547-1995

○その他ご意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 医療研究推進課 委員会係

電話:024-547-1825 FAX: 024-581-5163

E-mail:rs@fmu.ac.jp